

留学体験をありのままに伝える

私たちの留学

Style

教職大学院生

大学が提供する短期海外派遣プログラムの紹介

愛知教育大学国際交流センター長 小塚 良孝

愛知教育大学では、学部生、大学院生を問わず、在学中に海外の教育や文化を現地で学ぶ機会を提供しています。渡航先はアジアが中心ですが、ヨーロッパやアメリカのプログラムもあります。主な特徴としては、(1) 愛教大の教員が企画者・引率者であること、(2) 愛教大の協定教育機関と連携して実施されるプログラムであること、(3) 条件をクリアした参加者には渡航支援金が支給されること、が挙げられます。渡航期間や渡航時期はプログラムにより様々です。どのプログラムでも現地の教育事情を肌で感じて自身の教育観を広げたり、それぞれの国の文化体験を通じて「異文化理解」についての見方が広がります。関心があれば、ぜひチャレンジしてください。

01

どんな留學生活を過ごした？

ドイツSV(Short Visit)

2023年9月～ 23日間

小学校、専門学校(日本の中学～専門学校の年代)、大学、博物館等を中心に訪問しました。小学校では普通の授業の様子を見せていただき、校長先生へインタビューする機会を得ました。専門学校では、英語の授業に参加させていただき、ドイツと日本の特徴について現地学生と交流しました。

滞在都市は、「ケルン～ハイデルベルク～シュトゥットガルト～フライブルク～フランクフルト」の順に回りました。ケルン大聖堂を始め、ハイデルベルク城のような歴史的建造物や工業立国ドイツならではのスポーツ、ルール工業地帯の炭鉱や自動車博物館も訪問できました。



所属:教職大学院
留学年次:1年次
宿泊先:現地ホテル
奨学金:8万円
留学総額:約65万円
属性:現職院生
(高等学校教員)

留学したキッカケは？

学部生の時、第2外国語にドイツ語を選択していたことや学校現場に戻ってしまおうと3週間を超えるような渡航は容易ではないと感じたことです。

皆んなにメッセージ！

私の場合、日本にいと英語を使う機会ほとんど無く、積極的に関わろうとしていませんでした。SVのような機会では、英語やドイツ語を使わなければならないという必要に迫られ、できる限りやってみようという場に身を置くことになります。「行ってみたら、何とかなった。」という経験は、私のように不安が先行してしまう人にこそ、実りあるものになると思います。

一番大変だったことは？

英語に加えて、ドイツ語も必要となる場面があり、私はどちらの言語もまともに話せないため大変でした。用意していた挨拶には対応できても、不意に質問された時には聞き取ることができませんでした。

留学へ行って良かったことは？

- 日本の良さを再確認
- 日本人がどのように見られているか
- 大事にしている価値観の違い

日本ではエスカレーター等が故障なく整備され、過剰なくらいのサービスの良さが当たり前。ドイツはゴミの散乱や、不愛想な接客が目立つが、日本人よりも木々を大切に、環境への意識が高い。国民性の面白さを実感。





一番大変だったことは？

どのように授業をつくり、どのように現地の子供さんや子どもたち、また街の人たちとコミュニケーションをとればいいのか、と感じていました。特に、晋州は日本との複雑な過去で繋がっているため、安易な気持ちではなく、慎重になっていました。

留学へ行って良かったことは？

晋州教育大学校の学生さんと対話できたことです。「韓国の歴史授業では日本は“領土争いする国”と教えられるけど、私は今とても日本が好きだし、その認識は“国を作る時期だったから仕方ない”と今の韓国人は思っていますよ」と話してくれたことが何より心に残っています。



一番大変だったことは？

周囲の方々の手厚い支援によって、困ることはなかったです。校舎の構造が複雑でしたが、子どもたちが職員室まで迎えに来て、一緒に教室まで案内してくれました。寮についても、快適に過ごすことができました。ウォーターサーバーの水が重く、設置には要注意です。これも良い経験でした。

留学へ行って良かったことは？

日本の教育について改めて考える機会となりました。子どもたちは、どの世界においても輝く姿があり、それは教育によって育まれる。また、異国の教師を受け入れる柔軟さをもっており、逞しい。教職員の方々の教育に対する熱量も感じる事ができました。



どんな留学生生活を過ごした？

韓国SV(Short Visit)

2023年9月 7日間

晋州教育大学校と同大附属小学校の訪問、また全州や釜山も訪れることができました。特に印象的だったのは、晋州教育大学校の学生さんとともに創り上げた「日本の文字や文化」を体験的に学ぶ授業を附属小学校で実践したことでした。当日、子どもたちは楽しそうに自分の名前（聞こえ方）を日本語で表現し、それを友達に伝えていました。その様子を見て私たちも、とても達成感と「ちゃんと伝わった！」という感動を味わうことができました。



所属：教職大学院

留学年次：1年次

宿泊先：現地民宿

奨学金：7万円

留学総額：約14万円

属性：学部卒院生

留学したキッカケは？

普通に韓国旅行に行くだけでは経験できない、学校訪問や授業実践、韓国（晋州）の友達づくりができてと思い、留学を決めました。

皆さんにメッセージ！

「はじめての海外、行きたいけど、ちょっと怖いな」と思っているあなた！是非、SV留学からトライしてみませんか？困ったことはすぐに相談できるし、金銭面の補助も手厚いです。更に、国境を越えて“未来の教育”を考える同志と出会えます。海外生活は1週間でも大きな影響をあなたの人生に与えます。是非！おすすめです！

どんな留学生生活を過ごした？

上海 公立学校での授業実践

2023年10月 15日間

上海の公立学校にて2週間の教育実習体験を行いました。主に、小学校6年生から高校2年生までの日本語・日本文化の授業、高校2・3年生の中国籍の学生への日本留学試験数学科目の授業、高校3年生の日本籍の学生への数学授業を担当しました。また、中国の教員との交流と意見交換も行いました。様々な出会いと体験ができ、充実した日々を送ることができました。



所属：教職大学院

留学年次：1年次

宿泊先：現地ホテル

奨学金：あり

留学総額：約10万円

属性：現職院生
(中学校教員)

留学したキッカケは？

上海派遣の話が大学から頂き、海外教育について興味・関心があったので、体験プログラムに参加しました。

皆さんにメッセージ！

お世話になった現地校の職員や関係者の方々がとても親切で、安心して参加することができました。海外の教育を実際に肌で感じることで、自分自身の視野を広げることができます。教育観を深く内省する貴重な機会となります。思い切って挑戦することをおすすめします。

一番大変だったことは？

大変だと思ったことは全くなかったです。現地教員と会話をするときでも、現地ガイドの方が通訳してくれたので、とても助かりました。スケジュール的にはタイトでしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。



留学へ行って良かったことは？

教育観を深めることができたことです。日本の公教育での当たり前が、国が変わると当たり前じゃないことを実感しました。どちらが良い教育かではなく、「目の前の子どもの実態から、何を教えるか」という教育の原点の大切さを胸に刻むことができました！

皆さんにメッセージ！

たった7日間だけでしたが、今後の人生に大きな影響を与える7日間でした。教育とは何か、教育で何ができるのかを改めて深く考えるきっかけとなりました。留学できる機会があれば、絶対に参加した方がいいです！

どんな留学生生活を過ごした？

カンボジア 健康教育支援プロジェクト

2024年2月 7日間

カンボジア国立教育研究所と協力して、身体測定・健康教育に関するワークショップの補助及び現地教員・学生との交流を行いました。農村部の学校を視察したり、初等教員養成校の附属小学校を視察したりもしました。視察や現地教員との交流から、現在のカンボジアの教育について詳しく知ることができました。シェムリアップの街や遺跡群にも行け、カンボジアを深く知ることができました。



所属：教職大学院
留学年次：1年次
宿泊先：現地ホテル
奨学金：6万円
留学総額：約28万円
属性：現職院生
(小学校教員)

留学したキッカケは？

教育について研究をしていく中で、OECD加盟国以外の教育を実際に見て、教育観を深めたいと感じるようになりました。カンボジアは様々な国際援助を受け自国の教育を作り上げていっている最中なので、今のカンボジア教育を視察したいと思い参加しました。



05

一番大変だったことは？

国際交流センターの方々や引率の先生方、仲間のサポートが心強く、大変だと感じることは1つもありませんでした。多少のトラブルはありますが、それも含めての研修と捉えていましたし、毎日が充実していました。強いて大変さを言うならば、食文化が違うところがあるので、そこを気にされる方はいるかもしれません。

留学へ行って良かったことは？

- ・モンゴルの教育やモンゴルと日本のつながりを知ることができたこと。
- ・モンゴルの教育を知ることで、日本の教育について考えを深められたこと。
- ・モンゴルをさらに身近に感じられるようになったこと。
- ・精神的に新たなチャレンジがしやすくなったこと。

どんな留学生生活を過ごした？

モンゴルSV(Short Visit)

2023年9月 8日間

モンゴル国立教育大学と、その附属学校を中心に訪問しました。普段の授業の様子を見せていただいた他、「科学・ものづくり」をテーマとしたイベントに出展したり、現地の学生との交流会に参加したりしました。また、ゲルに宿泊したり、ラクダに乗ったりするなど、モンゴルの伝統的な生活を体験することもできました。



所属：教職大学院
留学年次：1年次
宿泊先：現地ホテル
奨学金：6万円
留学総額：約20万円
属性：現職院生
(小学校教員)

留学したキッカケは？

- ・大学院生のうちに、幅広い学びをしておきたいと思ったため。
- ・「モンゴルに行ってみよう」という中学生のときからの夢があったため。

皆さんにメッセージ！

「行ってみたい！」と少しでも思うのであれば、説明会の日程を調べ、申し込みフォームにすぐに書き始めることをおすすめします。そうやって、あなたのやりたいが実現していくように思います。安全面、経済面でサポートも万全です。今からこんな素晴らしい経験ができるあなたがうらやましい！私は、もう一度行きたいです。



06



一番大変だったことは？

仲間の支えや大学からのサポートが手厚かったため、大変だと感じる場面は少なかったです。移動が多かったため、電車の大幅な遅延や突然の運休に対応することに少し苦戦しました。しかし、臨機応変に対応することや柔軟な対応の大切さを学びました。

留学へ行って良かったことは？

学内では関わるのが少ない、学部生と一緒に生活することで、それぞれの専門についてや趣味の話など深い話をすることができました。また、現地で優しくしてもらったため、今度は日本で海外の方に自分から積極的に優しく接することができるようになりました。



一番大変だったことは？

留学期間も3週間程度であったため、特に大変だと感じる場面はなかったです。時計やシャワー等、いろいろな物が壊れがちであったり、駅には改札がなかったりなど、日本とのギャップはたくさんありましたが、それらも含めて楽しく、とても充実した時間でした。

留学へ行って良かったことは？

実際に現地に足を運んだことで、日本で学んだ異文化理解とは異なる場面も多くあり、誤って理解していたことに気づけたことで、少しでも正しく、初めてどんな文化でどんな良さと日本との違いがあるのか理解することが出来たのではないかと思います。



どんな留学生生活を過ごした？

ドイツSV(Short Visit)

2023年9月 22日間

フライブルク教育大学の学生のサポートのもと、ドイツの教育施設を訪問し、教育関係者と意見交換を行いました。専門学校を訪問した際は、数学の授業を一緒に受けたり、折り紙や日本語を伝える国際交流を行ったりしました。

また、ツォルフェライン炭鉱業遺産群や大聖堂、お城など多くのドイツの世界遺産を訪れることができました。そこで、ドイツの歴史や文化を学ぶ貴重な体験をすることができました。



所属：教職大学院

留学年次：1年次

宿泊先：現地ホテル

奨学金：8万円

留学総額：約80万円

属性：学部卒院生

留学したキッカケは？

世界に目を向け、異文化理解をすることができると考えたからです。また、私の住む地域には、外国人が多く住んでいるため、教員になった際に、外国人児童やその保護者への対応に生かすことができると考えたからです。

皆さんにメッセージ！

愛教大の先生も同行してくれるため、初めて海外へ行く方も安心していくことができると思います。また、海外の学校などを訪問し、教育や文化を学ぶことはもちろん、観光もできるため貴重な経験ができます！

07

どんな留学生生活を過ごした？

ドイツSV(Short Visit)

2023年9月 23日間

フライブルク教育大学と、公立学校を中心に訪問しました。普段の授業の様子を見せていただいた他、現地の学生とのグループワークに参加したり、ドイツの教育の特色を教職員の方からうかがったりしました。また、教会を訪問したり、博物館等の公共施設を訪問したり、ドイツの伝統文化や歴史に触れることもできました。



所属：教職大学院

留学年次：1年次

宿泊先：現地ホテル

奨学金：あり

留学総額：約60万円

属性：現職院生

(小学校教員)

留学したキッカケは？

日本の教育との違い、海外の教育の良さを自ら体験し、日本の教育に活かせるための貴重な経験と視野が得られる点は大前提とし、SVならば一人で行くよりも安心で、留学期間も長期休みの期間のみで行けたからです。

皆さんにメッセージ！

SVは、ある程度のプランがある中で、十分な自由時間も確保されているため、海外が初めての方でも安心して参加できる宿泊先だと思います。実際に使っ海外に足を運ぶのと、話を聞くだけでは、みえる世界がものすごく違います。初めての留学には、SVをおすすめします！

